

# I 教育委員会当初予算の基本的な考え方

県教委では、人口減少や高齢化の進展、技術革新やグローバル化などの急激な社会状況の変化や、本県の子どもたちの状況等をとらえた上で、「山口県教育振興基本計画」に基づき、本県の教育課題に的確に対応した諸施策を総合的・計画的に推進しています。

こうした中、県の令和4年度当初予算では、コロナの危機から県民の命と健康を守り抜く取組、長期化するコロナ禍や現下の感染状況による影響を踏まえた経済対策を実施するとともに、新たな未来に向けた県づくりを推進していくこととされたところです。

県教委においては、こうした県の予算編成方針のもと、コロナ禍による社会変化へ、いち早く対応して整備したICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大から子どもたちを守る対策を講じながら、教育振興基本計画の着実な実現に向けた「7つの緊急・重点プロジェクト」に沿った取組を進めていきます。

本県では、全国に先駆けて、全ての公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入と児童生徒への1人1台タブレット端末の整備を進めてきました。

令和4年度は、この2つの優れた環境を最大限に活かし、これまで蓄積してきた学校現場の教育実践とICT等の最先端の技術を最適に組み合わせ、新たな時代を見据えた教育の充実に取り組んでまいります。

～広がる教室 深まる学び～

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

➤ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる取組の更なる発展

学校等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策

➤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と教育活動の継続